

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やさしい時間作成日: 平成 30 年 11 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	地域代表と他事業所管理者、行政職員の参加を得て会議を行っているが、家族や民生委員、地域で活動している有識者、知見者等にも参加を呼びかけ、意見や要望を出し合い、ホーム運営に反映させていく。	参加委員を増員し、会議の議題としてテーマを決めて話し合う等(利用者を増やすには・地域との交流・研修報告)、報告会に留まらず、ホームや地域の課題について話し合ったり、勉強会を実施する等、内容の充実に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年1回は、消防署と地域住民の協力を得た避難訓練を実施し、地域と協力しながら、安心して利用者の避難誘導を行える支援体制を整えていく。	夜間、夜勤者2人で18名の利用者を安全に避難誘導するために、何度も繰り返して訓練を行い、夜勤者が自信を持って対応できるよう取り組んでいく。また、災害時にホームを福祉避難場所として開放する等、地域への支援として何が出来るのかを検討していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。